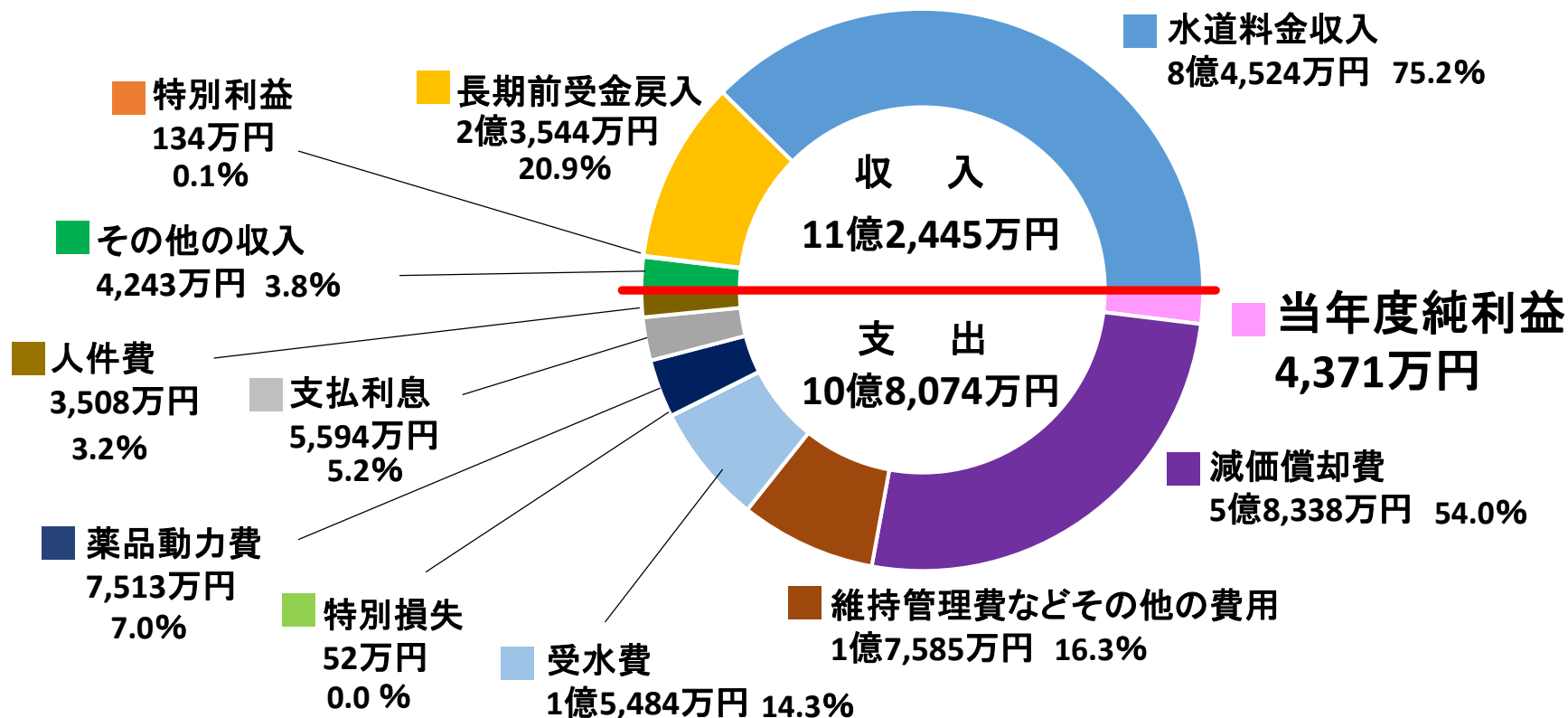


平成29年度水道事業会計決算報告 及び経営戦略との比較について



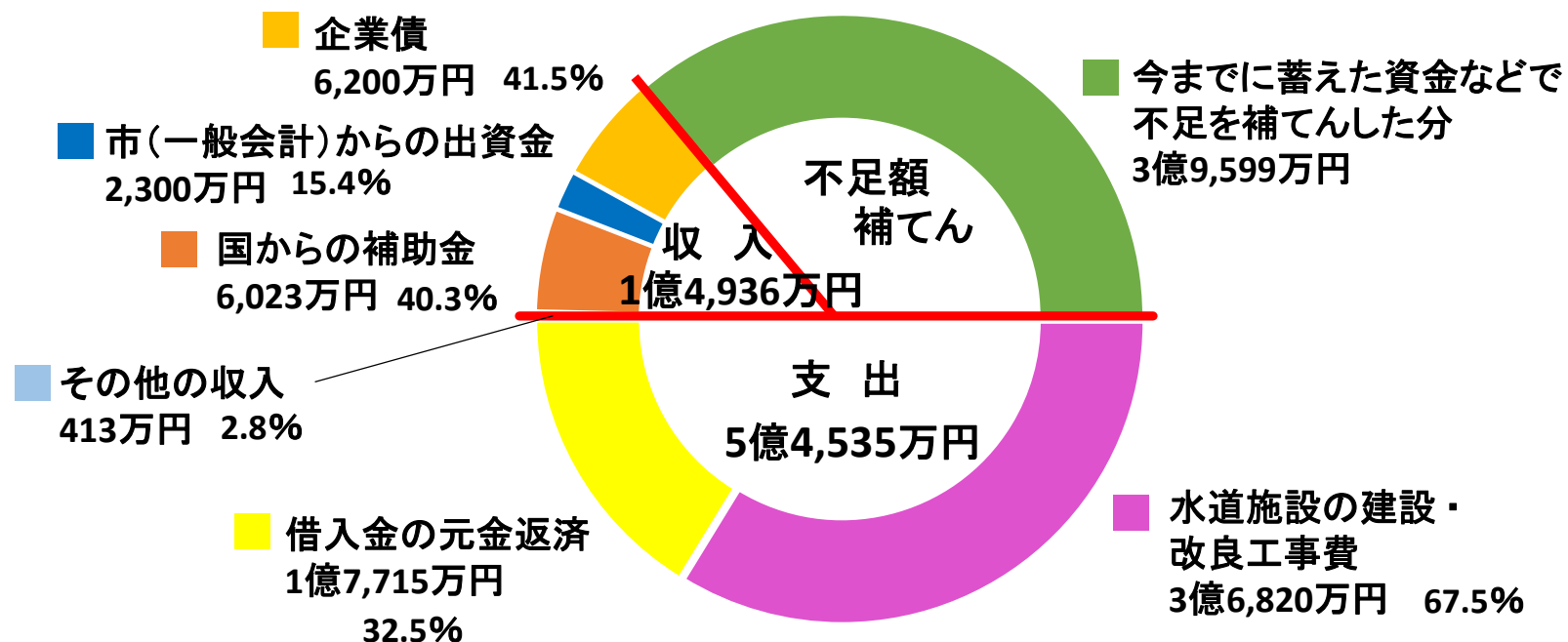
1.平成29年度決算(収益的収支の内訳)



1 収益的収支・・・水道水をつくり、家庭や企業などに送り届けるために必要な経費と財源

平成29年度決算においては、収入11億2,445万円、支出10億8,074万円となり、差し引き4,371万円の純利益が生じました。収入と支出の内訳は上の図のとおりです。

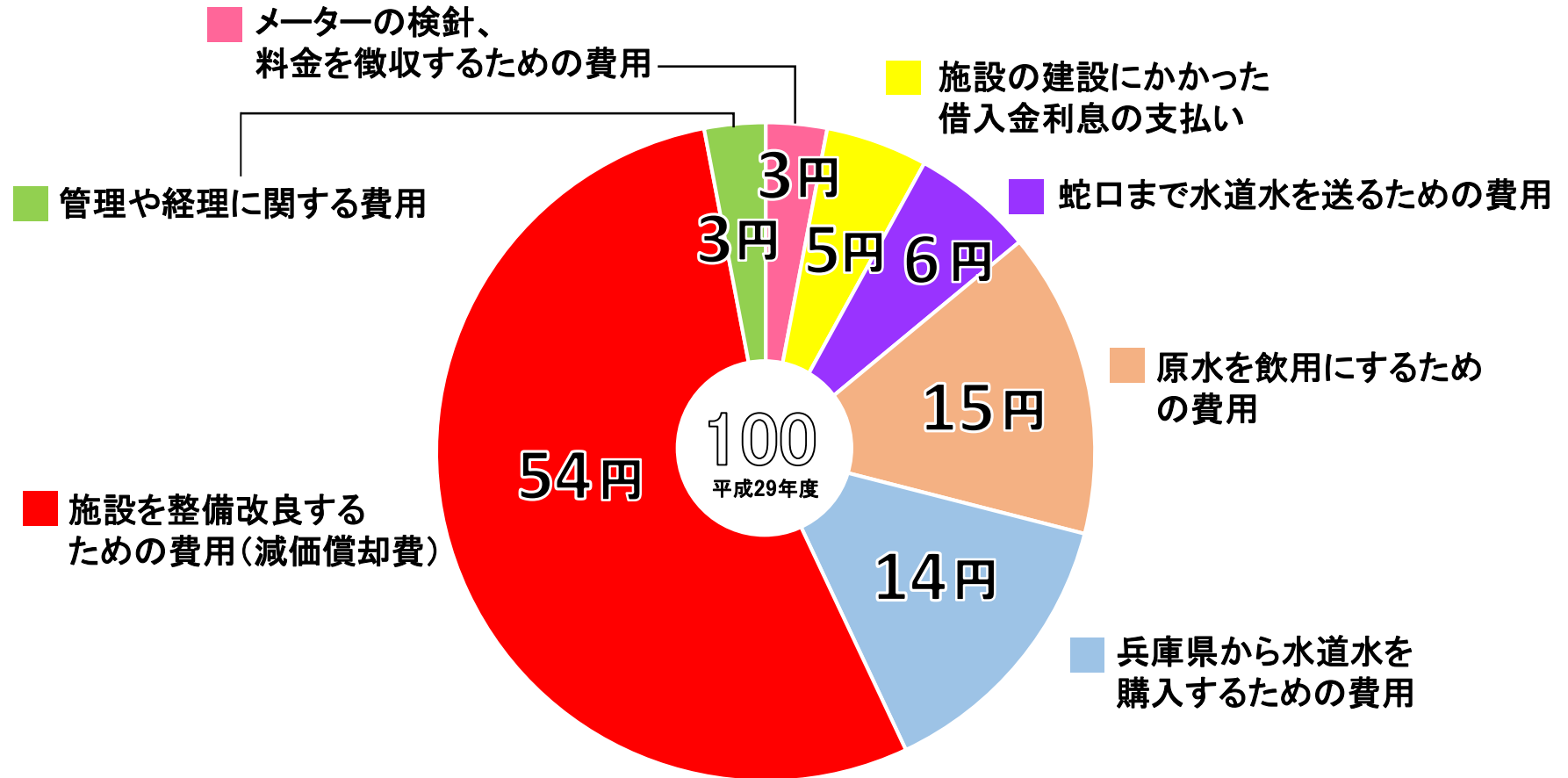
2.平成29年度決算(資本的収支の内訳)



2 資本的収支・・・水道施設を整備・改築・更新するために必要な経費と財源

平成29年度決算においては、収入1億4,936万円、支出5億4,535万円となり、差し引き3億9,599万円の不足額を生じました。不足額は、積立金や、現金支出を伴わない減価償却費などによって蓄えられた資金により補てんしました。収入と支出の内訳は上の図のとおりです。

3.平成29年度決算(水道料金費用内訳)



※上記の水道事業にかかる費用のうち、総人件費は3円です。

4. 平成29年度決算と経営戦略との比較

【収益的収支】

(税抜 単位:千円)

区分	項目	経営戦略	H29決算	増減	摘要
収益的収支	給水収益	820,000	845,243	25,243	有収水量 計画値3,890,000m ³ 実績値3,989,000m ³ 増減 99,000m ³
	その他営業収益	4,000	3,639	△ 361	
	長期前受金戻入	230,000	235,439	5,439	
	その他営業外収益	33,000	38,791	5,791	
	特別利益	6,000	1,336	△ 4,664	
	収入 計	1,093,000	1,124,448	31,448	
	職員費	63,000	35,082	△ 27,918	職員の削減を前倒ししたことによる減
	経費	405,000	405,584	584	
	減価償却費	509,000	583,376	74,376	
	支払利息	56,000	55,941	△ 59	
	その他営業外費用	2,000	237	△ 1,763	
	特別損失	129,000	517	△ 128,483	春日浄水場廃止の延期による資産減耗費の減
	支出 計	1,164,000	1,080,737	△ 83,263	
純損益	△ 71,000	43,711	114,711		
繰越利益剰余金	△ 486,000	△ 230,991	255,009		

【資本的収支】

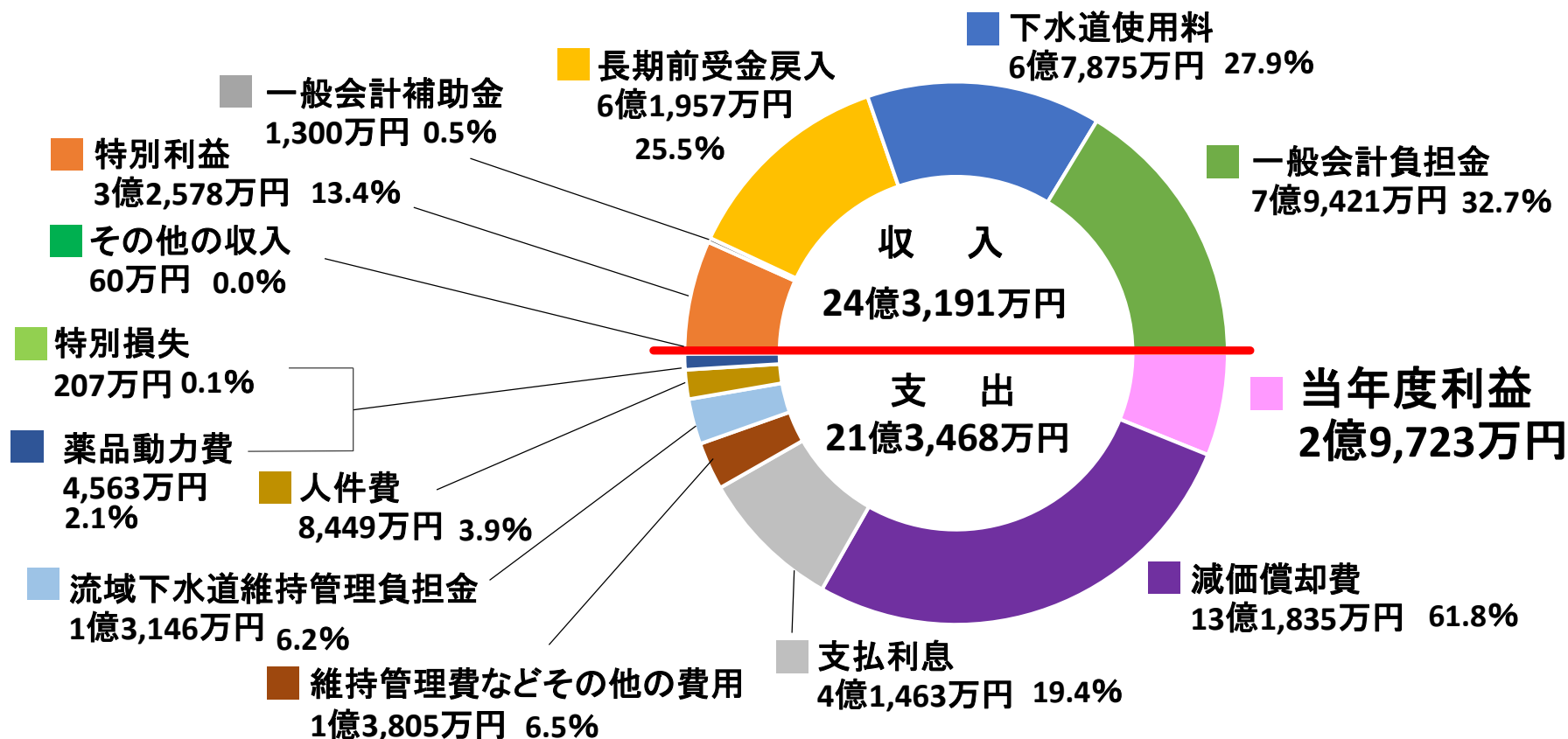
(税込 単位:千円)

区分	項目	経営戦略	H29決算	増減	摘要
資本的 収支	企業債	89,000	62,000	△ 27,000	老朽管更新工事費等の入札差金による減
	出資金	74,000	23,000	△ 51,000	老朽管更新工事費等の入札差金による減
	国庫補助金	33,000	60,230	27,230	補助対象工事の増
	その他	4,000	4,125	125	
	収入計	200,000	149,355	△ 50,645	
	建設改良費	437,000	368,199	△ 68,801	老朽管更新工事費等の入札差金による減
	企業債償還金	177,000	177,150	150	
	その他支出	0	0	0	
	支出計	614,000	545,349	△ 68,651	
	資本的収支不足額	414,000	395,994	△ 18,006	
補填財源		369,000	395,994	26,994	
補填財源不足額		45,000	0	△ 45,000	
資金残高		286,000	447,281	161,281	

平成29年度下水道事業会計決算報告 及び経営戦略との比較について



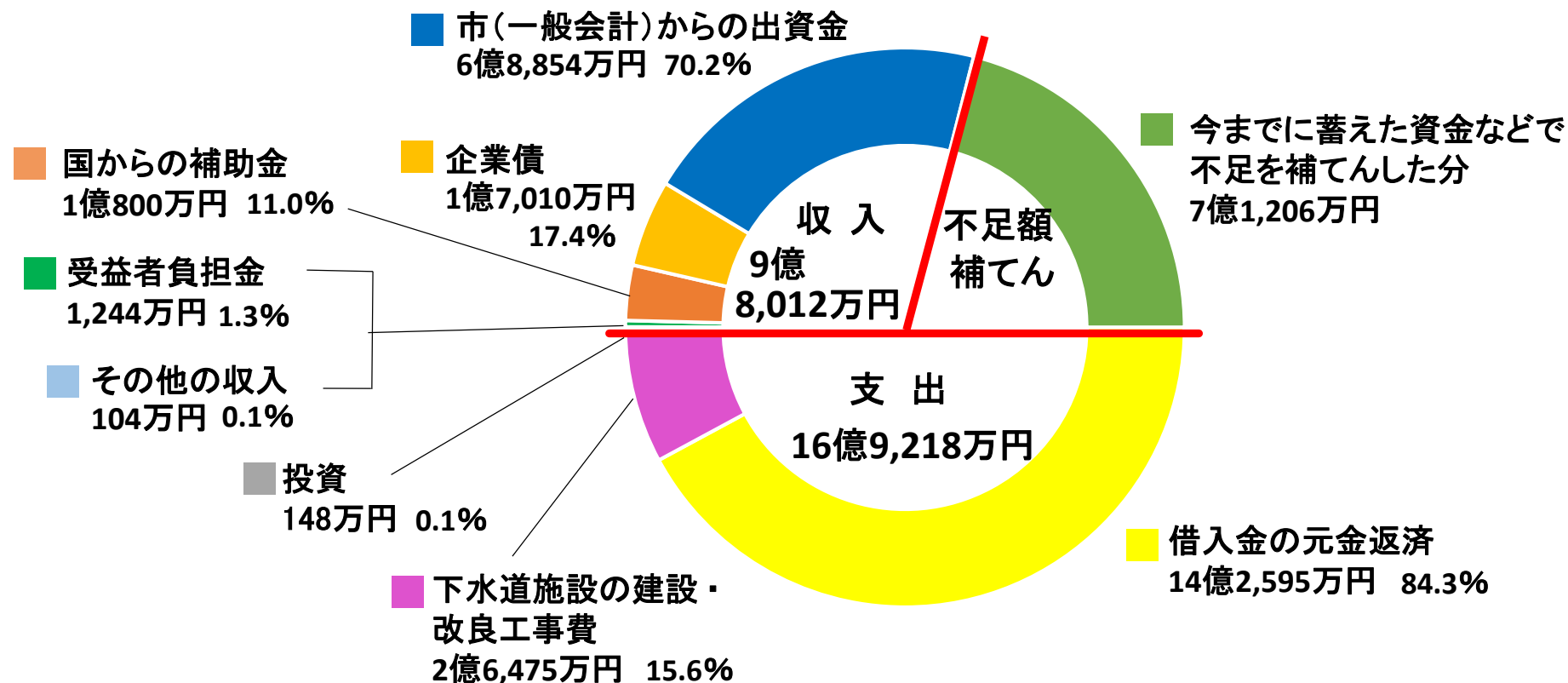
1.平成29年度決算(収益的収支の内訳)



1 収益的収支・・・家庭、事業所から排水された汚水の処理及び雨水排水路等を維持管理するために必要な経費と財源

平成29年度決算においては、収入24億3,191万円、支出21億3,468万円となり、差し引き2億9,723万円の純利益が生じました。収入と支出の内訳は上の図のとおりです。

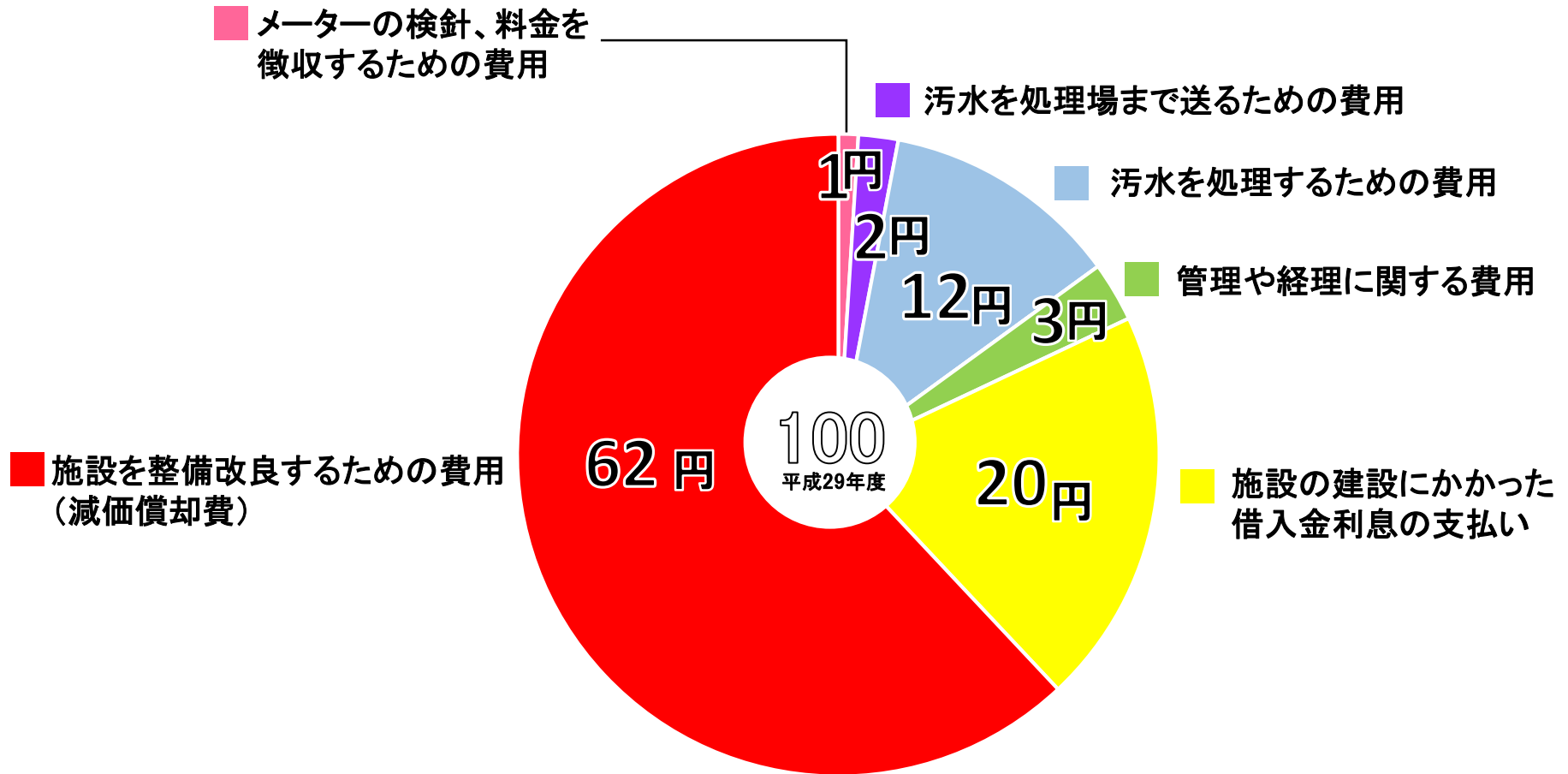
2.平成29年度決算(資本的収支の内訳)



2 資本的収支・・・汚水処理施設、雨水施設を整備・改築・更新するために必要な経費と財源

平成29年度決算においては、収入9億8,012万円、支出16億9,218万円となり、差引き7億1,206万円の不足額を生じました。この不足額は、現金の支出を伴わない減価償却費などによって蓄えられた資金により補填しました。収入と支出の内訳は上の図のとおりです。

3.平成29年度決算(下水道使用料費用内訳(汚水処理))



※上記の汚水を処理するための費用のうち、総人件費は4円です。

4.平成29年度決算と経営戦略との比較

【収益的収支】

(税抜 単位:千円)

区分	項目	経営戦略	H29決算	増減	摘要
収益的収支	使用料収入	673,429	678,747	5,318	有収水量 計画値3,446,000m ³ 実績値3,526,000m ³ 増減 80,000m ³
	その他営業収益	53,061	47,570	△ 5,491	雨水処理負担金の減△5,596
	他会計補助金	847,174	760,092	△ 87,082	支出の減と長期前受金戻入の増による減
	長期前受金戻入	588,924	619,569	30,645	資本剰余金の処分による増
	その他営業外収益	1,553	153	△ 1,400	
	特別利益	1,032	325,781	324,749	資本剰余金の処分により、長期前受金に組入れたもののうち、過年度分を特別利益で収益化したことによる増297,133 退職給付費引当金戻入額の増25,386
	収入計	2,165,173	2,431,912	266,739	
	職員費	85,568	84,493	△ 1,075	
	経費	341,520	313,978	△ 27,542	修繕費の減△11,415
	減価償却費	1,318,235	1,318,350	115	
	支払利息	415,640	414,626	△ 1,014	
	その他営業外費用	1,585	1,160	△ 425	
	特別損失	2,625	2,073	△ 552	
	支出計	2,165,173	2,134,680	△ 30,493	
純損益	0	297,232	297,232		
繰越利益剰余金	△ 622,766	△ 310,480	312,286		

【資本的収支】

(税込 単位:千円)

区分	項目	経営戦略	H29決算	増減	摘要
資本的 収支	企業債	200,500	170,100	△ 30,400	H30繰越42,300
	出資金	715,256	688,535	△ 26,721	H30繰越37,500
	国庫補助金	195,750	108,004	△ 87,746	H30繰越60,200
	その他	9,320	13,477	4,157	受益者負担金の増
	収入計	1,120,826	980,116	△ 140,710	
	建設改良費	423,323	264,749	△ 158,574	H30繰越140,000
	企業債償還金	1,425,949	1,425,950	1	
	その他支出	865	1,481	616	
	支出計	1,850,137	1,692,180	△ 157,957	
	資本的収支不足額	729,311	712,064	△ 17,247	
補填財源	729,311	722,771	△ 6,540		
補填財源不足額	0	△ 10,707	△ 10,707		

消費税率引上げに伴う 上下水道料金について

H31.10.1適用開始予定



1.消費税の軽減税率制度について

- 消費税の引き上げに合わせて、軽減税率制度が実施されますが、水道料金や下水道使用料は対象となっていません。

軽減税率の対象となる品目

飲食料品



新聞



など

2.消費税率引き上げ後の水道料金比較(2月につき)

- 家庭用メーター口径20mm以下の場合

使用水量	消費税8%	消費税10%	差
20m ³	3,996円	4,070円	74円
30m ³	5,508円	5,610円	102円
40m ³	7,020円	7,150円	130円
50m ³	8,532円	8,690円	158円
60m ³	10,044円	10,230円	186円

※条例で定めた料金は、税抜額であるため料金改定はありません。

3.消費税率引き上げ後の下水道使用料比較(2月につき)

- 一般汚水の場合

使用水量	消費税8%	消費税10%	差
20m ³	3,240円	3,300円	60円
30m ³	5,184円	5,280円	96円
40m ³	7,128円	7,260円	132円
50m ³	9,072円	9,240円	168円
60m ³	11,016円	11,220円	204円

※条例で定めた料金は、税抜額であるため料金改定はありません。

4.消費税率引き上げ時期

・経過措置



※平成31年10月1日前から継続して供給している水道に係る料金等で、前回検針日から2月の間に料金の支払いを受ける権利が確定するものは経過措置の対象となり消費税率は8%で計算されます。